

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI小型成長株ファンド ジェイクール（愛称：jcool）」は2023年12月22日に第18期決算を行いました。

当ファンドは、小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第18期末（2023年12月22日）

基準価額	13,311円
純資産総額	3,941百万円
第18期	
騰落率	△12.1%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI小型成長株ファンド ジェイクール （愛称：jcool）

追加型投信／国内／株式

## 交付運用報告書

第18期（決算日：2023年12月22日）

作成対象期間（2022年12月23日～2023年12月22日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

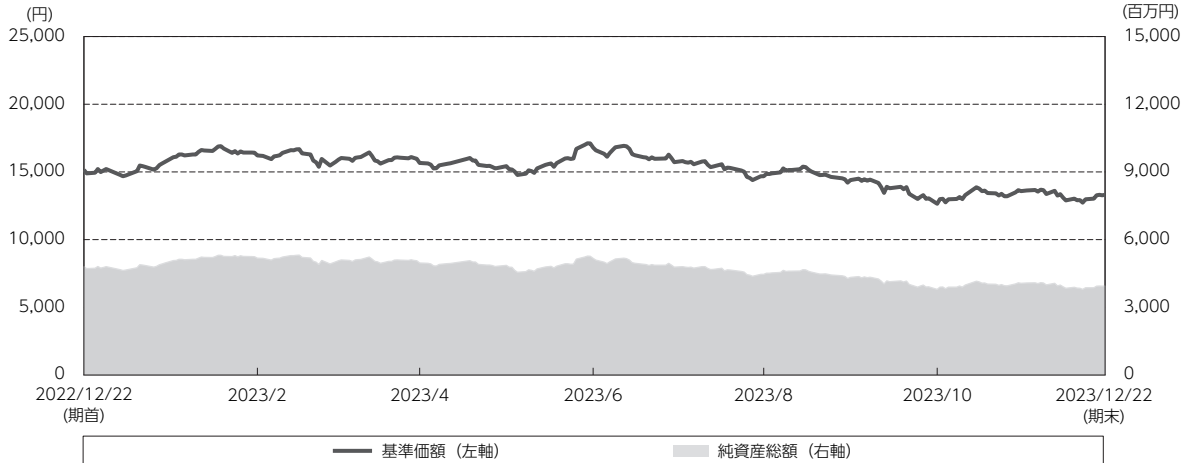
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2022年12月23日～2023年12月22日)



期首：15,147円

期末：13,311円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率：△12.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・良好な米国大型ハイテク企業や一部の国内企業の好決算
- ・海外投資家からの買いが強まったこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の積極的な政策金利引き上げ
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・米銀行破綻により信用不安が強まったこと

## 1 口当たりの費用明細

(2022年12月23日~2023年12月22日)

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	285	1.870	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(161)	(1.056)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(113)	(0.737)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 12)	(0.077)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	20	0.128	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 20)	(0.128)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.012	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 2)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	307	2.010	
期中の平均基準価額は、15,266円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

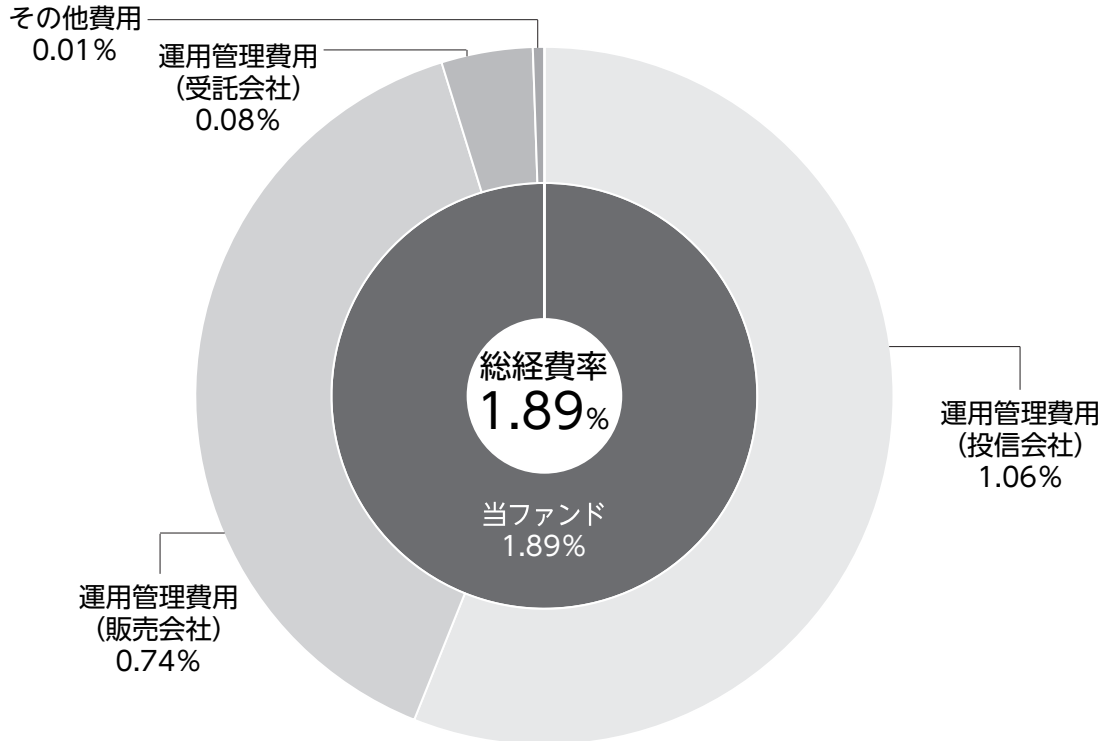
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注1) 上記費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

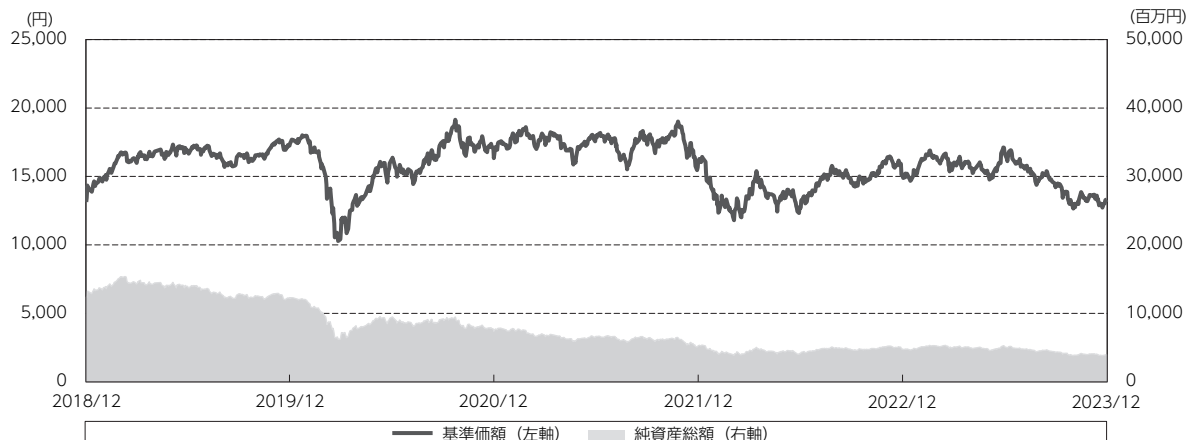
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年12月25日～2023年12月22日)



(注1) 当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2018年12月25日 決算日	2019年12月23日 決算日	2020年12月22日 決算日	2021年12月22日 決算日	2022年12月22日 決算日	2023年12月22日 決算日
基準価額 (円)	13,130	17,246	16,336	16,092	15,147	13,311
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	31.3	△5.3	△1.5	△5.9	△12.1
純資産総額 (百万円)	12,348	12,207	7,375	5,268	4,799	3,941

(注1) 当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

**投資環境**

(2022年12月23日~2023年12月22日)

当期の日経平均株価は26,000円台から始まりました。1月は日本銀行が現行の金融緩和策を維持し、金利上昇の抑制を図る措置を決定したことを受けた円安が好感され、日経平均株価が上昇しました。3月中旬、米地方銀行の経営破綻や欧州金融機関の経営危機により金融不安が高まり、日経平均株価が軟調となりました。しかし、米当局の迅速な対応により信用不安が後退し、3月は日経平均株価が上昇しました。4月は堅調な米雇用統計から米景気減速懸念が和らぐ中、米著名投資家が日本株への追加投資を示唆したことや、国内小売大手の決算などが好感され、日経平均株価が上昇しました。5月は、国内企業の好決算や海外投資家からの買いが強まったとともに、円安の進行が支えとなり、日経平均株価が上昇しました。その後、国内株式は、海外投資家からの買いが継続する中、全固体電池の実用化方針を示した大手自動車株などが買われ一段と上昇しました。7月から9月にかけて、日経平均株価はもみ合いとなりました。10月は、中東情勢の緊迫化や国内外長期金利上昇への警戒感などにより日経平均株価が下落しました。11月は、国内外長期金利低下によるリスク選好の改善や米CPIの伸び鈍化などにより、日経平均株価が上昇しました。通期では日経平均株価が上昇し、33,000円台で終わりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年12月23日～2023年12月22日)

## &lt;当ファンド&gt;

主要投資対象である小型成長株・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用いたしました。

## &lt;小型成長株・マザーファンド&gt;

エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の助言をもとに投資判断を行い、運用いたしました。投資を行った銘柄は、わが国の株式のうち、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」です。原則、公開後3年以内の企業を投資対象としています。ボトムアップ調査を行った銘柄のうち、成長性・収益性・安全性・革新性・株価水準等を総合的に評価判断し、おおむね50銘柄を組み入れ、逐次銘柄見直しを行いました。また、銘柄分散、時間分散を考慮し、1銘柄で最も組入比率が高いものでも4%程度としました。

なお、株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上を維持しました。期末の株式組入比率は96.5%となっております。



※組入比率はマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2022年12月23日～2023年12月22日)

当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数を採用していません。

**分配金**

(2022年12月23日～2023年12月22日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2022年12月23日～ 2023年12月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,750

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き小型成長株・マザーファンドを高位に組入れる方針で運用してまいります。

### <小型成長株・マザーファンド>

引き続きエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の投資助言に基づき、革新的高成長が期待される企業へ投資を行い、信託財産の成長を目指します。

なお、当該マザーファンドに投資助言を行っているエンジェルジャパン・アセットマネジメントでは、以下のようにコメントをしています。

当期（2022年12月23日～2023年12月22日）の日本株市場は、日米長期金利の上昇や円安進行に加えて、東証によるPBR 1倍割れ企業への改善策要請などを背景に大型バリューストック（割安）株が大きく上昇する一方、小型グロース（成長）株投資にとっては厳しい展開が続きました。新興成長企業に特化している当ファンドの基準価額もこうした環境の影響を大きく受けましたが、組入企業については四半期毎に決算を綿密に分析し、想定通り業績が好調に推移していることを確認しています。

来期に目を向けると明るい材料も出てきています。まず、当期にバリュエーション調整が進んだことでバリューストックへの流れが一段落し、グロース株が見直されることが期待されます。また、米利下げが見込まれるなか、今年ほどのバリューストック一辺倒は起きにくいでしょう。さらに個別銘柄に目を向けると、人手不足や物流の2024年問題など、社会の課題を解決する企業が続々と出現しています。

当ファンドは、設定来一貫して「新規公開を機に成長を加速する革新成長企業を厳選する」というコンセプトに基づきポートフォリオを構築しています。短期的要因に左右されることなくこの方針を継続することが、中長期的には利益成長に連動したリターンを提供につながると信じています。今後も、四半期ごとの企業面談を行いながら成長の確度が変わらないかしっかりと確認すると同時に、新規公開企業とは全て面談して次代を担う成長企業の発掘に努めてまいります。

## お知らせ

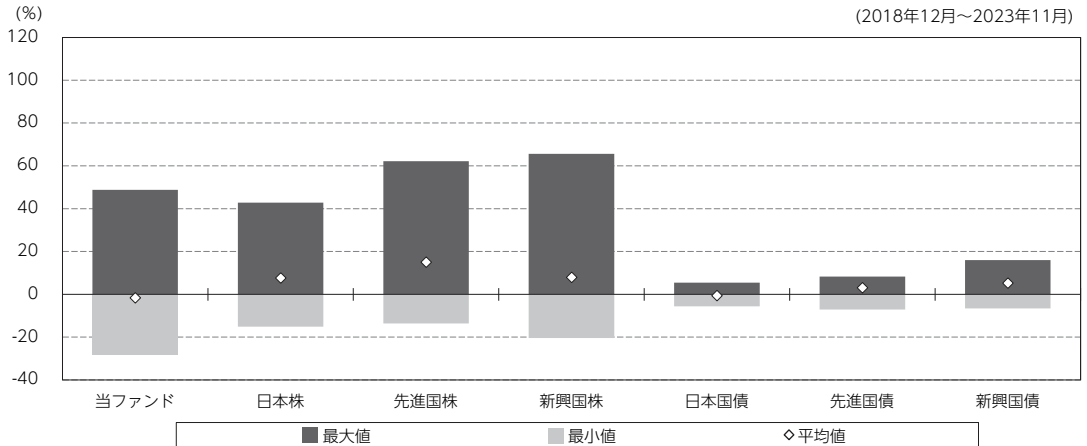
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限	
運用方針	小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	小型成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド (ベビーファンド)	主として、小型成長株・マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行います。 なお、マザーファンド受益証券の組入れ比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	わが国の証券取引所上場株式のうち中小型株を主要投資対象とします。また、株式の投資に際しては、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」を厳選して分散投資を行います。
分配方針	年1回（毎年12月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配対象額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.8	42.8	62.2	65.6	5.5	8.3	16.0
最小値	△ 28.4	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	△ 1.7	7.6	15.0	7.9	△ 0.7	3.1	5.2

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

- 日本株…Morningstar 日本株式指数
- 先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)
- 新興国株…Morningstar 新興国株式指数
- 日本国債…Morningstar 日本国債指数
- 先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)
- 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年12月22日現在)

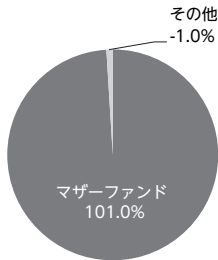
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
小型成長株・マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

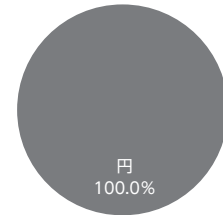
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## 純資産等

項目	第18期末
	2023年12月22日
純資産総額	3,941,182,976円
受益権総口数	296,093口
1口当たり基準価額	13,311円

(注) 期中における追加設定元本額は144,790,000円、同解約元本額は352,470,000円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 小型成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年12月23日～2023年12月22日)



【1万円当たりの費用明細】

(2022年12月23日～2023年12月22日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	26円 ( 26)	0.128% (0.128)
合 計	26	0.128

期中の平均基準価額は、20,480円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2023年12月22日現在)

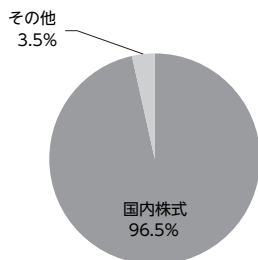
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	ボードルア	情報・通信業	円	日本	3.9%
2	マネジメントソリューションズ	サービス業	円	日本	3.8%
3	ビーイングホールディングス	陸運業	円	日本	3.7%
4	システムサポート	情報・通信業	円	日本	3.4%
5	ワンキャリア	情報・通信業	円	日本	3.4%
6	GMOフィナンシャルゲート	情報・通信業	円	日本	3.4%
7	グローバルセキュリティエキスパート	情報・通信業	円	日本	3.3%
8	ステムセル研究所	サービス業	円	日本	3.2%
9	コアコンセプト・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	3.1%
10	テンポイノベーション	不動産業	円	日本	3.0%
組入銘柄数				52銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

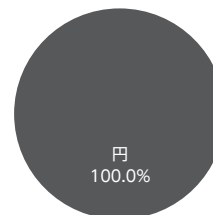
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年12月22日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含む Morningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。